

◆ 今週のコメント

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(女性, 80歳代)あり, 症状は発熱, 意識障害, 肺炎です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は水系感染です。レジオネラ肺炎は, 乳幼児や高齢者, 闘病中で抵抗力が低下している人が発病しやすく, 健康人でも疲労等で体力が落ちている時に発病することがあるため, 注意が必要です。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症の報告が1例(女性, 80歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 初めての報告となっています。この病気の発症メカニズムは, 未だに明らかになっておらず, その潜在的な感染リスクはわからないままです。また, 早期の診断が難しく, 進行が速いため, 発症してから24～48時間以内に患者の5～10%が死亡するという重篤性の高い病気です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 90歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 平成25年の累積報告数は15例, 平成26年 40例でした。本年の累積報告数は2例です。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, 年間を通じて注意が必要な疾患のため, ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は24.16(1643例)となり, 5週連続で注意報レベル「10」を超えています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 15例(肺結核 8例, その他結核 5例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】(第2週追加報告分)
- 五類: 侵襲性髄膜炎菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	24.16	1,643
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.56	269
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	39
	③ RSウイルス感染症	0.46	19
	④ 突発性発しん	0.29	12
	⑤ 手足口病	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

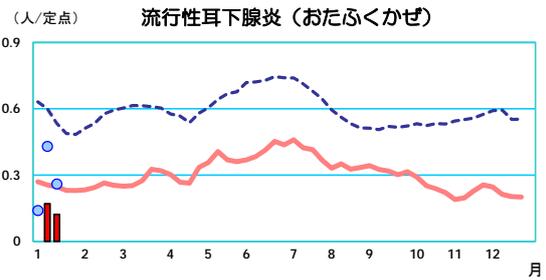
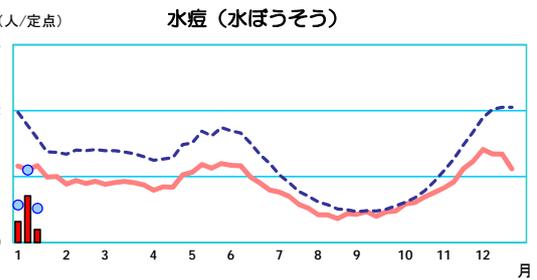
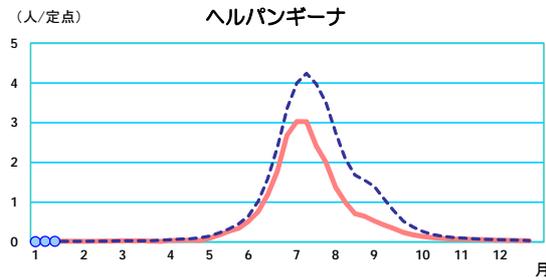
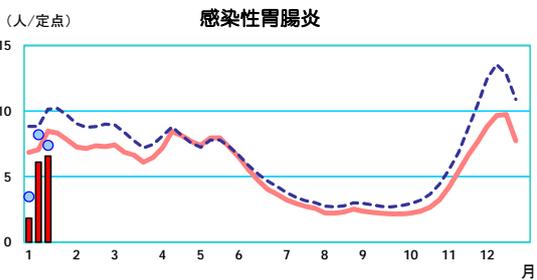
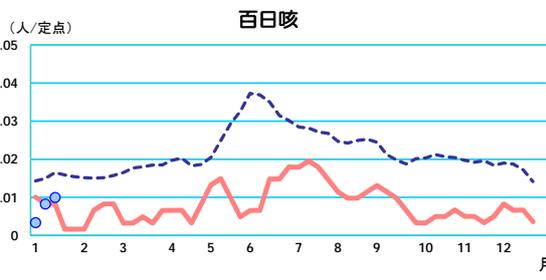
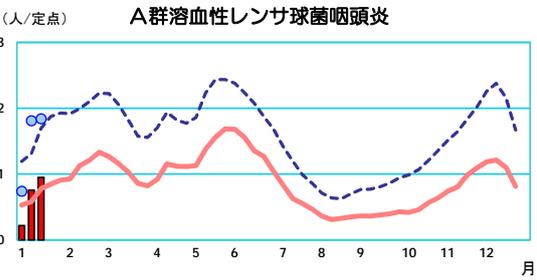
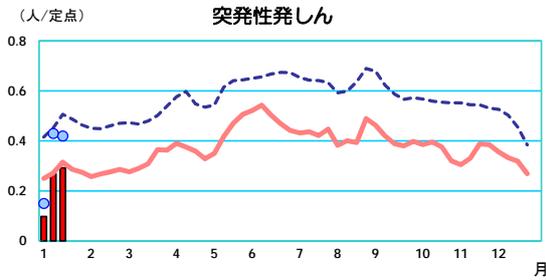
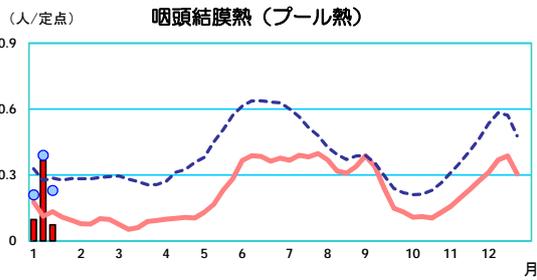
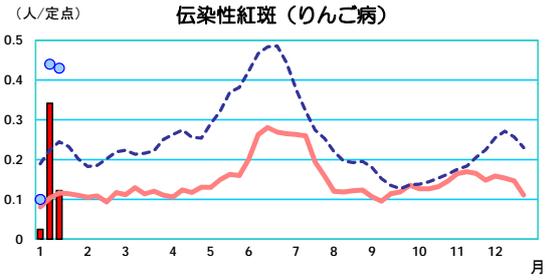
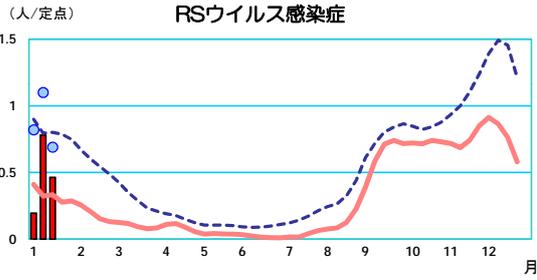
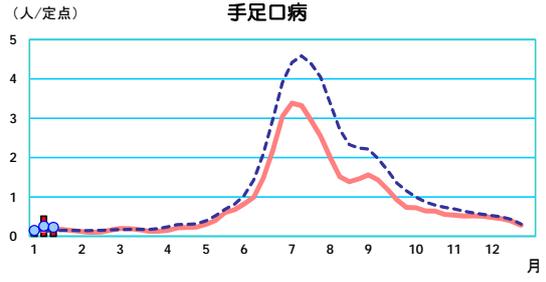
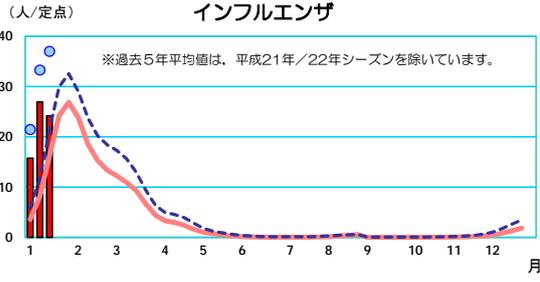
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成27年1月22日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第3週(1月12日～1月18日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は24.16(1643例)となり、5週連続で注意報レベル「10」を超えています。前週の定点当たり報告数(26.91)から大幅な減少は見られず、また全国の報告数を見ると、前週に続き警報レベル「30」を超えていることから、今後の発生動向に注意が必要です。

都道府県あたりでは32県で警報レベルを超えており、西日本で報告数の多い傾向が見られます。なお、警報レベルを超えない都道府県においても、すべて注意報レベルを上回っています。

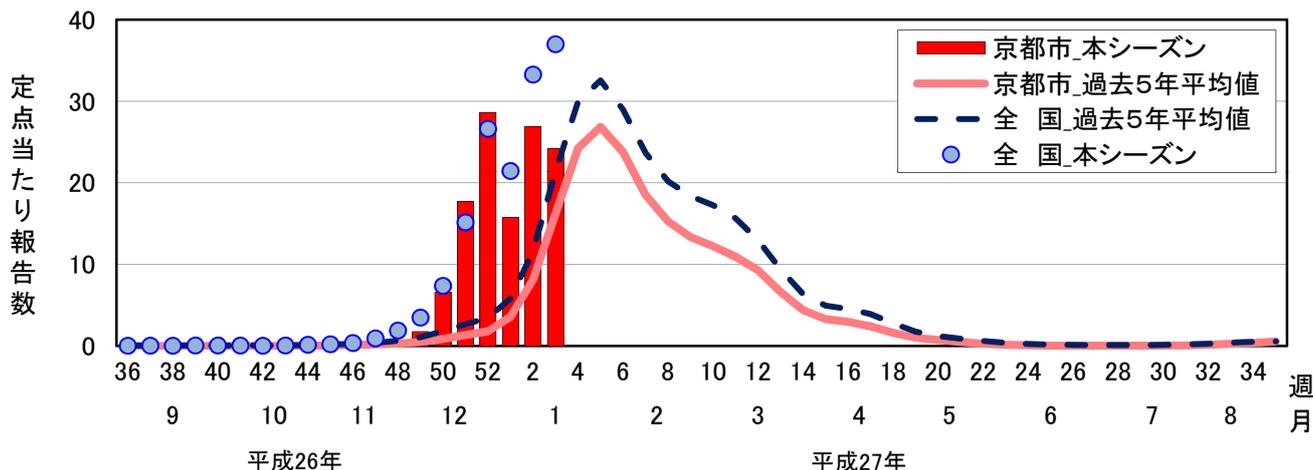
感染経路

主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等による飛沫感染で、他にドアノブ、手すり等に触れることでの接触感染もあると言われています。飛沫感染対策として、有症者自身がマスクをする、咳をする際はティッシュやハンカチで口を覆う等の対応(咳エチケット)を心掛けましょう。また、接触感染対策として、手洗い等の手指衛生を徹底しましょう。

高齢者について

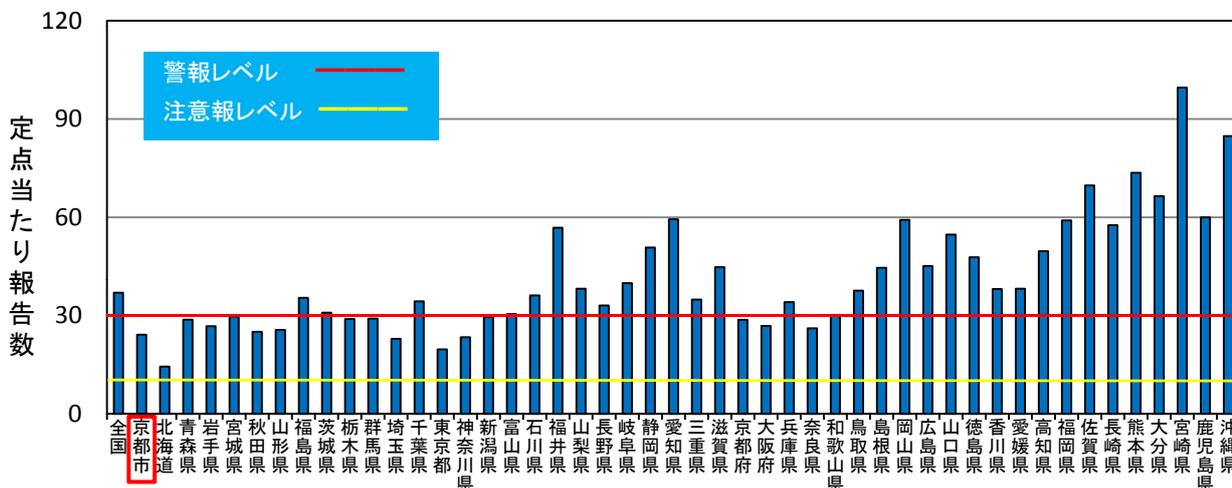
高齢者の方は、インフルエンザにかかると重症になる危険性が高くなります。また、呼吸器や心臓などに持病のある人は肺炎を引き起こし、死に至ることも珍しくありません。高齢者介護施設等ではウイルスの持ち込みを防ぐため、職員が咳エチケットや手指衛生を徹底するとともに、インフルエンザの症状が認められる場合の訪問を控えてもらう等の配慮が重要です。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

都道府県別定点当たり報告数(第3週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第3週

疾病,行政区別報告数

平成27年1月12日～平成27年1月18日

データ入手日:平成27年1月22日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	97	2	-	1	8	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
上京	107	1	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
左京	171	3	-	6	52	-	-	1	1	-	-	1	-	-						
中京	156	1	-	1	19	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	97	4	-	-	34	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	129	1	-	2	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-						
下京	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	215	-	3	2	24	5	1	-	-	-	3	-	-	-						
右京	160	1	-	9	57	1	1	1	3	-	-	2	-	1						
伏見	289	3	-	7	45	1	7	-	3	-	-	-	-	-						
西京	168	3	-	9	26	-	-	1	3	-	-	-	-	-						
京都市計	1,643	19	3	39	269	8	10	5	12	-	3	5	-	1	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	13.86	0.50	-	0.25	2.00	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
上京	21.40	0.33	-	0.67	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	24.43	0.75	-	1.50	13.00	-	-	0.25	0.25	-	-	0.25	-	-						
中京	31.20	0.33	-	0.33	6.33	-	-	0.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	32.33	2.00	-	-	17.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	18.43	0.25	-	0.50	0.75	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-						
下京	18.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	43.00	-	1.00	0.67	8.00	1.67	0.33	-	-	-	1.00	-	-	-						
右京	20.00	0.20	-	1.80	11.40	0.20	0.20	0.20	0.60	-	-	0.40	-	1.00						
伏見	26.27	0.43	-	1.00	6.43	0.14	1.00	-	0.43	-	-	-	-	-						
西京	24.00	0.75	-	2.25	6.50	-	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-						
京都市計	24.16	0.46	0.07	0.95	6.56	0.20	0.24	0.12	0.29	-	0.07	0.12	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第3週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年1月12日～平成27年1月18日

データ入手日:平成27年1月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,643	4	24	73	80	72	84	83	78	81	62	69	217	93	140	163	125	69	45	37	44
RSウイルス感染症		19	3	5	6	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	-	-	3	4	3	4	5	2	5	4	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		269	2	10	42	29	26	17	12	18	11	9	9	21	16	47	-	-	-	-	-	-
水痘		8	1	1	1	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	10	-	-	3	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		5	-	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	3	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	24.16	0.06	0.35	1.07	1.18	1.06	1.24	1.22	1.15	1.19	0.91	1.01	3.19	1.37	2.06	2.40	1.84	1.01	0.66	0.54	0.65
RSウイルス感染症		0.46	0.07	0.12	0.15	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.95	-	-	0.07	0.10	0.07	0.10	0.12	0.05	0.12	0.10	0.05	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.56	0.05	0.24	1.02	0.71	0.63	0.41	0.29	0.44	0.27	0.22	0.22	0.51	0.39	1.15	-	-	-	-	-	-
水痘		0.20	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.24	-	-	0.07	0.05	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.12	-	-	-	0.02	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.29	-	0.07	0.20	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第3週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年1月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	447	1,205	1,947	1,070	1,830	1,643
RSウイルス感染症	68	45	48	8	32	19
咽頭結膜熱	13	10	19	4	15	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	53	39	9	31	39
感染性胃腸炎	378	374	345	75	250	269
水痘	60	38	33	13	29	8
手足口病	15	23	26	6	21	10
伝染性紅斑	2	4	7	1	14	5
突発性発しん	12	7	13	4	11	12
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	4	3
流行性耳下腺炎	11	6	8	-	7	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	4	2	-	6	1
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,070	1,769	2,487	1,191	2,251	2,017

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	6.57	17.72	28.63	15.74	26.91	24.16
RSウイルス感染症	1.66	1.10	1.17	0.20	0.78	0.46
咽頭結膜熱	0.32	0.24	0.46	0.10	0.37	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	1.29	0.95	0.22	0.76	0.95
感染性胃腸炎	9.22	9.12	8.41	1.83	6.10	6.56
水痘	1.46	0.93	0.80	0.32	0.71	0.20
手足口病	0.37	0.56	0.63	0.15	0.51	0.24
伝染性紅斑	0.05	0.10	0.17	0.02	0.34	0.12
突発性発しん	0.29	0.17	0.32	0.10	0.27	0.29
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	-	-	0.02	0.10	0.07
流行性耳下腺炎	0.27	0.15	0.20	-	0.17	0.12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.40	0.20	-	0.60	0.10
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	21.92	31.78	41.95	18.69	38.61	33.36

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。